

公表：2024年 3月 18日 事業所名： 第2こぼと園 職員数6人 回収数5人 割合83%

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である。	5	0	危険箇所の確認など使用については連絡合っている 課題点として、集まりの時に広すぎるスペースで気持ちが途切れるので後ろのスペースに行く子どももいる。	○園庭が狭いため、引き続き、散歩や近くの公園、山などの園外活動などにとりくむ。 ○部屋は広いが、活動によって部屋や空間の使い方を工夫する。 ○職員の配置基準は満たしているが、職員体制整備・充実のための意見を関係団体の協議の場に挙げていく。 ○清潔で心地よい環境であるよう、保護者の協力も仰ぎながら努力する。
	② 職員の配置数は適切である。	4	1	最低基準以上の職員を配置している。	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている。	4	1	なるべく分かりやすいよう工夫しているが、部屋の数等の都合で限界がある。	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている。	4	1	老朽化の為 環境整備等心掛ける 建物の老朽化に伴い、難しいこともあるが、なるべく清潔に安全に使えるように配慮している。 定期的に清掃等を決めてしている	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している。	5	0		○担当者会議、研修、ケース会議、など、取り組みの振り返りや見直しを行っているが、時間をかけてじっくりと行うことが難しい。時間の使い方、働き方などを検討・工夫しながら、適切に行っていくよう努力する。 ○保護者評価、事業所の自己評価をもとに今後生かしていく。 ○第三者による外部評価は未実施であり、今後必要に応じて実施を検討する。 ○研修を計画的に行い、職員の学ぶ意欲を高め、職員の専門性や人間性を高めるように努める。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている。	5	0		
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している。	5	0		
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	4	1		
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している。	5	0		

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している。	5	0	職員会議を増やし、個々の課題や支援について考え合っている	<p>○第2こばと園では、ガイドラインに沿った支援を次のように行っているが、さらに充実させるように努める。</p> <p>①親子通園で楽しい遊びや体験を通して発達の土台の力を育て、意欲的で安定した生活が送れるように取り組んでいる。(発達支援)</p> <p>②親子通園、保護者懇談会などを通して、我が子を理解し子育てに元気と見通しが持てるように支援したいと取り組んでいる。(家族支援)</p> <p>③関係機関との連携、特に保育所や幼稚園・こども園などと併行通園している場合は、園との連携を通して、安定した生活が送れるように支援している。(地域支援)</p> <p>○子どもに合わせた適切な支援を行うよう、アセスメントを行い、児童発達支援計画を立てて活動プログラムを考え、日々の振り返りを通して次の活動にフィードバックしている。時間的な余裕がなく、職員全員で共有することが課題である。時間の使い方を工夫し、職員全員で共有することに努める。</p>
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している。	4	1	発達検査や子どもの行動観察、保護者への聞き取りなどを通して、アセスメントを行っている。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている。	5	0	ガイドラインに沿って、必要な内容を網羅した児童発達支援計画の作成を行っている。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている。	5	0	支援計画の目標に沿って、支援を計画し実行している。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている。	5	0	担当職員を中心に、職員集団全体で定期的な振り返りの会議を行い、取り組みを考え合っている。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	5	0		
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している。	5	0	基本的には集団の療育だが、個別の発達相談や保護者相談などを定期的に、要望や必要に応じて行っている。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。	5	0	時間や役割をきちんと確認している	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している。	5	0		
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	5	0		
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している。	5	0			

関係機関や保護者との連携	⑲	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している。	5	0		
	⑳	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている。	5	0	保健師や市の親子教室担当者と連携をしながら、必要な児を支援につなげたり、資源を確認している。子育て支援について関係機関との連携を行っている	
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている。	5	0	投薬やその際に必要な配慮について、保護者を通じて主治医に確認している。	○子どもの状態に応じて、特に配慮を要する子どもとその家族に対して、必要に応じて関係機関(母子保健、ネウボウ課、障がい福祉課、保育課、学びづくり課、基幹相談支援センター、こども発達支援センター、子ども家庭センターなど)と連携し支援を行い、子どものすやかな育ちを支えることができるように努める。
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関と連絡体制を整えている。	2	3	必要があれば連携を行っているが、日常的な定期的な連携体制は作れていない。	○医療的ケア児ではない場合でも、必要があるときには、医療機関への紹介や情報共有などを行う。
	㉓	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	5	0	併行通園先の保育所と、必要に応じて電話での連携や訪問連携を行っている。	○併行通園している保育所、幼稚園、子ども園との連携は重点を置いており、療育懇談会(年1回、グループごと、公開療育と懇談会)を設けて直接会って情報共有したり、研修会(療育研修会・聴覚障害研修会など)を開催することを計画していたが、新型コロナウイルスの流行により実施できていない。今後感染状況に応じて実施していきたい。
	㉔	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	2	3	必要に応じて、進学先の小学校、放課後等デイサービスと連携を行っているが、十分には行えていない。	○移行支援、他機関との交流や情報共有、研修などについては、継続して行う。
	㉕	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている。	5	0	必要に応じて(引継ぎ、取り組みの共有等)、他のセンターや事業所と連携を行っている。	
	㉖	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある。	3	2	併行通園が基本なので、日常的な関わりがあると捉えている。行事などを通じた交流は行えていない。	
	㉗	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している。	2	3	事業所内で参加している職員がおり、協議内容を職員に伝達している。	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	5	0	毎回の療育の時間に保護者との懇談の時間をとっている。個別の懇談も年間の中で計画的に取るようにしている。その他、連絡帳でのやりとりをしたり、それぞれの家庭の必要性に応じて懇談の時間をとっている。	○保護者への支援は、引き続き、親子通園、保護者懇談会などの日常的な支援と、年数回の保護者教室や学習会などの学びの場を設け行っていく。そのために、職員の研修を行い、より質の高い支援を行っていけるよう努力する。
保	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている。	4	1	毎回の保護者懇談で、その日の療育や日々の悩みを通して、子どもの発達特性や、その時々様子について助言をしたり、保護者集団といっしょに考え合っている。その他、発達検査をした後に、子どもの発達状態や特性についてフィードバックを行い、保護者への助言を行っている。	
	㉚	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	5	0	入園前の説明会、途中入園の際の契約手続きの際に、説明している。	
	㉛	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の供給すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている。	5	0	入園前の説明会、途中入園の際の契約手続きの際に児童発達支援ガイドラインとそれに沿った児童発達支援計画の作成、モニタリングについて説明している。保護者の困りごとやニーズの把握を行い、児童発達支援計画を作成し、説明を行った上で同意を得ている。	
	㉜	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。	5	0	毎回の保護者懇談で悩みを出し合えるようにしている。個別的な相談も、なるべく時間を作るようにしている。	

保護者への説明責任等	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している。	3	2	基本的に親子通園なので、日頃から保護者同士の交流や支援は行っている。最近は母以外の家族が参加して下さる家庭も多い。	<p>○保護者の困りごとやニーズを聞き取り、それらを踏まえて児童発達支援計画を作成している。職員間で会議を行い、必要な修正を行っている。保護者1人ひとりに説明を行い、同意を得ている。</p> <p>○日常的な保護者への説明や相談は行っているが、さらに保護者が相談しやすくなるように、職員との信頼関係を深め、職員が声をかけていくよう努力する。</p> <p>○個人情報の扱いについて細心の注意を払う。</p>
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している。	5	0	なるべく迅速に対応できるよう配慮している。すぐに対応が難しい時には、保護者と調整し、対応できる日を計画的に決定できるよう対応している。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。	5	0	年に数回、園のお便りを発行している。グループごとの活動や、保護者向けの学習会等の行事はメール配信で知らせている。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している。	5	0		
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	5	0		
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている。	1	4	行事等を通じた地域との連携は行っていない。	

非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	5	0	月に1回、訓練を実施している。	<p>○想定される緊急時等のマニュアルを漏れがないように策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施するように努める。</p> <p>○引き続き避難訓練を、各グループ年1回は実施するように計画する。</p> <p>○全国いたるところで様々な災害が生じている状況もふまえ、緊急時の気象情報や避難情報の把握と対応（保護者との連絡や関係機関との連携）を図り、皆の安全を守るよう努める。</p> <p>○危険箇所に基づいたらすぐに対応する。</p> <p>○各地で悲惨な虐待事件が報告される中で、虐待や身体拘束に関する研修を行い、日常に引き付けて考え、対処できるように取り組む。</p>
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。	5	0		
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している。	5	0	保護者に状況を確認し、主治医の指示書を確認している。必要な対応について研修を受けている。	
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	5	0	アレルギー対応の必要な子については、指示書の提出をお願いし、それに基づいて対応している。	
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している。	5	0	毎日の終礼でヒヤリハット事案を確認共有している。半年に一度、全員参加の職員会議でヒヤリハット事例を振り返り、注意点を共有している。	
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	5	0	担当職員が年間通して計画的に研修に参加し、職位全体に伝達している。	
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している。	5	0	入園説明会で保護者への説明を行い、同意を得ている。身体拘束を行う要件について職員に確認し伝えている。児童発達支援計画にも記載し、改めて説明、確認をしている。身体拘束にあたる対応があったかどうかを、毎日の終礼で確認し、記録に残している。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果
(公表)

別紙4

公表：2024年 3月18日

事業所名：第2こぼと園

保護者数(児童数) 62 回収数 53 割合85%

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか。	49	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ●人数に対してはスペースはあまり広くない ●スペースは十分だと思うが、外で3輪車等を乗るスペースは少ない ●外遊びの場所はもう少し広い方がいい ●外に遊具はないが、神社や公園におでかけもあるので、3歳児には十分の広さだと思う ●広いスペースと園庭がある。子どもがのびのびと過ごしている姿からそう感じています。 ●広さはあるが親と先生も合わせた人数が一部屋に集まると圧迫感があり、聴覚過敏や集団が苦手な子にとっては苦痛な場になりかねないと思う。 ●部屋から出る方法もあるが先生の対応も必要になるし、一緒にいる空間を大切にすると室内にパーティション的な隠れBOXや、差し支えない窓に1か所だけ長いカーテンを取り付けて、様子を覗きながらも少しだけ隠られる物があってもいいように思う。 ●自由に活動する時に、室内でも屋外でも選べて、楽しく遊べている。しいて言うなら、室内は少し走り回れるけど、屋外は三輪車や車があつて、乗って移動する事はできても、“走り回る”という感じで遊ぶ事が出来ないと思っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ○基準以上のスペースは確保しています。活動内容によっては園外の公園に出かけるなどして工夫していきます。 ○死角になる場所がないように職員間で確認し安全を確保するよう努めます。 ○職員の配置基準を満たす人数を配置しています。 ○過敏さや切り替えの困難など様々な課題があり、活動に参加しにくかったり、同じ空間に居づらいことがあると思いますが、その都度、子どもに丁寧に寄り添うことで、人が支えになりながら活動できるなど育ちにつながることもあります。じっくり時間や人の手をかけながら取り組んでいきましょう。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか。	45	6	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ●しっかりと1人1人を見れる人数だと感じる ●こどもの活動にあわせて、室内と外の先生とおられる。顔写真などで先生が分かりやすい。 ●専門性を持ち子どもに向き合われている姿には感銘を受けています。職員配置については回答しがたいです。 ●子どもに対する先生の対応にバラつきがある。 ●子ども同士でトラブルが起こったとして、見守り対応なのか、親介入で済みますのか、療育的な対応見本を示すのかよく分からない。幼保の延長線で参加型の参観日のように感じる時もある。 ●活動中に、こどもが急に移動したり、親がこどもについて行けてない時など、こどもが1人にならないようにすぐに着いて行って対応して下さっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○職員の専門性を高めるために、日々の話し合いや研修を行い、子どもたちや保護者の方たちがより安心して過ごせるように努めます。 ○子ども同士のトラブルや、その時々での子どもへの対応について、職員の関わり方からモデルを示したり、具体的な関り方を伝えていけるよう、職員間で話し合いや研修に努めていきます。

環境・体制整備	③	生活空間は、本人に分かりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	42	8	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ●靴箱、タオルかけ、トイレと絵の表示があり本人には、わかりやすい。 ●子どもが場所に慣れると配置を理解し行動できるのかなと思います。 ●鍵を徹底してほしい。掛け忘れが多い。移動時は保護者任せにすると善意で鍵を中途半端に掛けない人もいる。 ●園庭がいつも綺麗で気持ちが良い ●トイレのアルコールスプレーが壊れていて使えない ●活動中に少しエスケープやクールダウンしたい時、また食事が早く終わった時などに、畳の部屋に行き、本を読んだりブロック遊びが出来て、お友達が気にならなかったり、クールダウンが出来るようになっていと思う。こどもが自主的に安心できる場所へ移動しに行けていると思います。 	<p style="text-align: right;">○第2こぼと園は、今までも子どもたちにとってより良い環境になるように改修や修繕、様々な手立てを行って来ました。引き続き、皆様からのご意見を参考にしながら、子どもにとってより良い環境づくりに努めます。危険箇所は迅速に改善に努めます。</p> <p>○トイレのアルコールスプレーは、コロナ禍に設置していたもので、ご指摘を受け撤去しました。しかし、引き続き、感染流行時等には、アルコール消毒等のご協力をお願いすることもあるかと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。</p>
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	40	12	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ●建物が古い ●絵本の部屋にエアコンがあるといい。 ●心地よく過ごせていると思いますが、清潔感については回答しがたいです。 ●園庭と駐車場がいつも綺麗 ●トイレのアルコールスプレーが使えない(中身はあるが出ない、壊れている) ●紺色のマットが布製なので、時々綿埃がでているのが気になります。 ●各所に手洗い場や水道があり、各場面で手洗いやアルコール消毒を行えるようになっている。 	<p>○建物の老朽化については、常時点検把握を行い、危険箇所や破損箇所の回収に努めています。また、今後、新園舎の施設整備も計画をすすめておりますので、皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>○絵本の部屋の暑さ対策のため、冷風扇の設置を行いました。十分とは言えませんが、熱中症対策や快適に過ごせる配慮を考えております。</p>

適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか。	19	1	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ●丁寧な聞き取りと、日頃の活動、連絡帳での家での様子、こどもの特性を理解して下さって計画を立ててくださっています。 ●個別発達支援計画は本人の実情に基づいて的確に記入していただいています。 ●こどもの発達検査や、活動中の様子から、身体の使い方や会話の内容などから、客観的に支援計画書が作成されていると思います。 	○子どもの発達状態や課題を療育中の様子や個別の発達検査等を通して把握しています。保護者懇談を通して、ニーズを聞き取り児童発達支援計画に反映させています。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	44	1	0	8	<ul style="list-style-type: none"> ●楽しみつつ、親子の課題目標がしっかりしていると思う。 ●並行通園している幼稚園とも連携を取って下さり、問題点や改善点などの情報を共有して、こばと園＝幼稚園＝家庭で連携がとれた支援計画になっていると思います。 ●個別発達支援計画は本人の実情に基づいて的確に記入していただいています。 	<p>○お子さんと保護者の方に一緒に通ってきていただき、楽しい遊びや体験を通して発達の土台の力を育て、意欲的で安定した生活が送れるようにとりこんでいます。（発達支援）</p> <p>○親子通園、保護者懇談会などを通して、我が子を理解し子育てに元気と見通しが持てるように支援したいととりこんでいます。（家族支援）</p> <p>○保育所や幼稚園・こども園などと併行通園されている方は、園との連携を通して、安定した生活が送れるように支援しています。（地域支援）</p> <p>○ガイドラインに沿った内容で児童発達支援計画を立てています。一人ひとりのニーズに合わせてより適切な支援に努めます。</p>
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	47	4	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ●バスに乗ったり、公園、坂すべり、砂遊びなどたくさん活動を体験させてもらい本人も楽しんでいる。 ●計画内容に沿った支援をいただいていると思います。 ●こどもの興味に沿った活動内容になっており、遊びながらこども自身が考えたり、身体を動かしたりして行動していると思います。 ●保育園と情報共有しているのか分からない。 	<p>○児童発達支援計画の目標に沿って、子どもの発達状態や課題、興味関心に合わせて支援を行っています。半年ごとに目標に沿った振り返りを行い、新たな計画を立てています。</p> <p>○必要に応じて保育所や幼稚園、こども園と情報を共有し、支援計画に反映しています。</p>

<p>⑧</p>	<p>活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか。</p>	<p>45</p>	<p>3</p>	<p>1</p>	<p>4</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●季節よっての遊びをとりいれたり工夫されている。 ●クッキング、公園の活動は見通しがもちやすいように二週続けてして下さるので、こどもの変化がわかりやすい。 ●個々のペースに合わせて対応していただいていると思います。 ●いろいろと活動を考えてくださっているが、その日の活動内容を遂行する事がメインになっていて、輪に入れない子や出来ない子に対してどうフォローしていくのかが見えない。 ●特定の遊びになりがちなので、他の運動遊びもしてみたい。 ●季節やイベントで流れをつくり、その時々で課題がこなせていると思います。 	<p>○子どもの発達状態や課題、興味関心に合わせて活動内容を考えています。</p> <p>○子どものペースに合わせてくり返し活動していくことも多いですが、固定化しないよう少しずつ遊びや活動を深めていきます。ねらいや意図を伝えていくことに努めています。が、分かりにくいことがあればお尋ね頂けたらと思います。</p>
<p>⑨</p>	<p>保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。</p>	<p>39</p>	<p>1</p>	<p>6</p>	<p>7</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●通園し始めたばかりで、園の先生との交流はあったが、子どもとの交流はまだない ●保育所に併行通園しています。 ●幼稚園に週4日並行通園しています。 	<p>○日常的に保育所等との併行通園をされている場合が多いので、障がいのない子どもと活動する機会があるととらえています。</p>

保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。	52	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ●契約時に丁寧に説明していただきました。 ●クッキングなどの実費をお知らせもらっています。 	<p>○入園説明会で、運営規定や利用者負担等の基本的な説明を行っています。実際に通っていく中で必要になってくる費用について、予めお伝えして保護者の了承を得ています。</p>
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか。	50	2	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ●個別で丁寧に説明してくださっています。 ●前期と後期で説明や面談してもらっています。 ●契約時に丁寧に説明していただきました。 ●計画を渡されて内容を確認した。説明は受けてないが、どのようにしていくか、通園が決まった時にざっくり最初に話したことはある。 	<p>○児童発達支援ガイドラインに沿った「児童発達支援計画」の基本的な説明を入園説明会でを行っています。</p> <p>○児童発達支援計画と前期末(9-10月)と後期末(2-3月)のモニタリングについては、個別に説明をしながらお渡しし、保護者といっしょに確認していますが、なるべく分かりやすい説明に努めています。分かりにくい点があれば説明いたしますので、遠慮なくお伝えください。</p>
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか。	34	11	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ●こどもの行動の意味や思いを親と保育者がいっしょに考えてくださっています。 ●要所所で助言いただいています。 ●私はすぐに手助けをしてしまいがちなのですが、よく先生に“〇〇君1人でやってみよう！”と声かけしてもらったり、親同士で意見を聞きあう時間などがあり、とても参考になる。 ●グループによって差はあるかもしれないが、親として子どもが療育を受けている意味や、障がいがある(かもしれない)という意識は低いと思う。 ●子どもの程度により心配している親もそれぞれだと思うので仕方ないが、物足りなさを感じる。その場で先生から『こんな時はこうしてあげたら～』といった助言も無いように思うので、そういった方針なのか適切な意味を理解しにくい。ただ、先生にもよる。 ●先生によって差がある ●通園し始めて間もないので何とも言えない。 	<p>○親子で通園して頂くことを通して、子どもさんの困り感や課題についての理解を深めていけるよう、懇談で話をしていきます。</p> <p>○療育中にも、子どもさんの課題や具体的な関り方について、助言をしていけるよう努めています。十分に伝えきれていない点については、研修で子どもや保護者支援についての理解を深めていけるように努めていきます。</p>
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか。	46	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ●全ては伝えきれていないと思う ●活動のあとの親の話し合いや連絡帳でこどもの様子を共有してくださっています。 ●要所所で助言いただいています。 ●先生が気付かれた点や、必要な関わり方など 丁寧に説明していただきます。 ●今年度こちらの都合であまり行けてない為どちらともいえないにしました。 ●私の方が、連絡ノートをあまり書いておらず、活用できていないと思います。 	<p>○日々の懇談で子どもの様子について共有しています。</p> <p>○家庭と当園で様子が異なる子どもさんもたくさんおられますが、家庭での様子を丁寧に確認することに努め、共通に大事に取り組んでいく点について確認しています。</p>

保護者への説明等	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか。	50	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ●先生との何気ない会話や、保護者の振り返り会などで発言しやすい時間を作って頂いています。 ●ほぼ毎回、活動の後に意見や感想を話せる時間を設けてもらっていて、親も今日は何がポイントになったかが明確になって良いと思います。 ●定期的な面談は予定していただいているのか不明です。 	<p>○日々の療育の後に、集団での懇談を行い、療育の中での気づきや、日々の悩みについて共有したり、助言・相談を行っています。</p> <p>○年間通して、定期的に個別相談をおこなったり、保護者の要望や子どもの様子に合わせて相談の機会を設けています。</p> <p>○その他、年間を通して、子育てに関する講演会や、他の保護者の子育て体験を聞くなどの学習会を企画しています。</p>
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか。	35	9	0	9	<ul style="list-style-type: none"> ●活動の最後に保護者で話し合う時間があるのでそこで意見交換しています。 ●勉強会は参加した事はあるが、父母の会や保護者会は参加していない。 ●通園を始めたばかりで、まだわからない ●仕事と育児の両立のため保護者会など参加が難しい。 	○親子通園なので、日常的に各グループの保護者のつながりがあります。懇談を通して、お互いの悩みを聞き合ったり、共有しています。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか。	45	7	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ●困り事や、コロナ等の情報が共有されていると思います ●お忙しそうにされている時は相談しにくいと感じることがあります。 	<p>○親子で通園して頂く中で、子どもの気になる姿や、保護者の方の悩みについては、できるだけ時機を逃さず共有できるように努めています。</p> <p>○状況や時期によっては、すぐに対応ができにくいこともあるかもしれませんが、相談に対しては丁寧になるべく早く対応することに努めていますので、遠慮なくお声かけください。</p>
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか。	53	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ●その都度確認等の配慮をしていただいていると思います。 ●伝えられないことは連絡帳を通して伝えられている。 ●こどもには側まで来てくれて声かけをしてくれたり、出来るだけ視覚支援されており、意思疎通出来るようになっていると思います。 	<p>○子どもの発達課題や聴力などに合わせて必要な配慮を行いながら、情報を伝えることに努めています。</p> <p>○連絡帳やメール配信など必要な手段を使って、適切に情報をお伝えできるよう努めています。</p>

	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか。	42	2	0	9	<ul style="list-style-type: none"> ●定期的にメールを頂いています。 ●メール配信や季刊誌などで情報を得られるようになってきていると思います。 	○ホームページへの掲載、メールでのお知らせ、園内の掲示をして、自己評価結果をお伝えしています。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか。	49	1	0	3	●されていると思います	
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	42	2	0	9	<ul style="list-style-type: none"> ●感染症対応は聞いている。 ●お手紙やメールを頂き、説明されています。 ●まだマニュアルを提示していただいたことはありません。 	○避難訓練は、各グループ年1回は実施するように計画しています。 ○各種マニュアルについては、保護者への説明機会を作り、園内に掲示して、必要な時に閲覧できるようにしますので、ご覧になってください。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか。	45	3	1	4	<ul style="list-style-type: none"> ●通園間もないが、今のところはない。 ●定期的にどのグループも避難訓練が実施されています。 ●経験がない ●火災避難訓練が実施されています。 	
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか。	50	2	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ●とても楽しみにしている ●大好きな先生に会えるのを楽しみにしている。 ●あと何日したらこぼと園と楽しみにしています。 ●今年度こちらの都合であまり行けてない為どちらともいえないにしました。 ●“今日こぼと？”と聞いてきたり、帰宅後は“また遊べる？会える？”と聞いてきます。 	○活動の内容や時間の使い方を工夫して、子どもにも保護者の皆さんにも満足してもらえるよう、引き続きニーズを把握し、努力していきます。
	㉓	事業所の支援に満足しているか。	45	7	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ●個別に対応していただいているのでありがたいです。 ●今年度こちらの都合であまり行けてない為どちらともいえないにしました。 ●いつもこどもの気持ちに寄り添って頂き、のびのびと過ごしていると思います。 	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、

その結果を集計したものです。